

ある日の山・6月の網張コース

広野 孝男

クマ

網張の第2リフトの終点部を過ぎて間もなく前方50m程の所に真っ黒な物が見えた。岩にしてはおかしいと思ったが、ゆっくりと動いている。クマだ！ たまたま首からぶら下げているカメラで狙う。ピントを合わせ、3回程シャッターを押した。クマは何事もなかったように悠然と右側のササ藪の中に入って見えなくなった。少し間をおいて声をだしながら登る。クマの通った近くにあった登山標識は引き抜かれ、無残に壊されていた。クマの仕業と思われた。

この日（6月26日）、網張から岩手山に登ろうと早朝5時過ぎに出発し、直登するゲレンデ内の道を歩いていた。クマに出会ったのは6時過ぎだった。今まで山でクマを見かけることは何度かあったが、写真撮影ができたのは初めてだった。まともに写っていたのは1枚だけだったが、大きなクマだった。



お花

姥倉～大地獄を過ぎ、9時前に「お花」に着く。誰もいない木道の上で休む。アオモリトドマツの梢にモズが止まっていた。カッコウ、コマドリの声が聞こえる。足元にはヒナザクラ、チングルマ、イワカガミが咲く。大地獄を過ぎて「お花」に着いて休むと、ここは「天国（極楽）」かといつも思う。近くの御苗代湖に行く。いつものようにスケッチする。新緑が鮮やかだが、水面の色が難しい。新緑と空が映っているのだが、その色はなかなかを描けない。

お花～三峰～頂上～九合目～鬼ヶ城

御苗代湖から三峰へ向かう分岐近くの湿原にはヒナザクラが群生し、満開だった。一見残雪のように見えた。三峰に向かう途中の林内にはシラネアオイが群生し咲いている。か

つて同じ時季に歩いたときはシラネアオイをかき分けながら歩いた。山頂方面からの大きな雪崩が起きた後は、少し明るくなり、かき分ける必要はなくなったか。三峰を過ぎ一峰へ行く。「ヒッチョロチョロチョロ・・・」と流れるような声。双眼鏡でのぞくとルリ色が見え、ルリビタキだった。

一峰（平笠）に着くと、焼け走りコースから登山者が続々と登ってきてにぎやかになる。丁度コマクサが見頃なのだろう。偶然ボランティア仲間3人とも出会う。

頂上を経由してお鉢を回り、九合目で昼食を取る。九合目ではエゾタンポポが目立ってきた。セイヨウタンポポは一株だけだった。帰りは鬼ヶ城経由とする。イワウメ、ムシトリスミレ、ナガバナツガザクラ、キバナノコマノツメ等が咲いていた。Cルンゼの「窓」からお花、御苗代湖をのぞく。切り通しからは岩手山が大きく見え、スケッチする。

イヌワシ？

犬倉分岐を過ぎて元湯を望む展望地で大きな鳥影が見えた。双眼鏡でのぞくと、トビ、ノスリではなく、クマタカでもない。そのうち肩をすぼめて急降下し、反転して飛び去り視野から消えた。そのスピード、飛び方は当地域では見たこともないイヌワシに見えた・・・？

(2019.6.26)

